

左往してるから、こんなことになっちゃうんでね。

じゃあ何か。それぞれが考えて、「土木の希望は？」ってやったらいいんだよね。それが大事だと思う。いま肩書きなんていうのは何の役にも立たないですよ。人は肩書きで説得できないもの。だけど、言ってることに説得性があれば、どんな人でもついてくるよ。「じゃあ土木の希望は何だ？」っていうと、キーワードは安全、安心だと思うんですよ。僕の問題だけじゃなくて。安全、安心を担うのはやっぱり土木ですよ。例えば、土木構造物のメンテナンスという問題がある。これは長く安全に使うという方向にもっていかざるを得ないじゃないですか。何か新しいものを造って、そこから利潤を生むという発展途上国的なものはムリですよ。豊かにするっていうね。豊かって何だっっていうことを考えていかないといけないんじゃないですか。

池亀 土木学会がこういう問題をやるのが適切なのかと疑問に思っています。学会でやるとなると、「公共事業の話は構造力学の先生がなんでしてるねん。」みたいな、一般市民より少しばかり知っている人たちが議論してるという世界に終わってるんじゃないか。私自身もゼネコンで公共事業のお話を一生懸命考えたけど、全然届かない。いまPFIにかなり深く関わっているけれども、やっぱり届かない世界にいて、それが問題だと思っています。

#### ◇閉塞感の原因

河田 日本の閉塞感の最大の原因は、国際化に失敗したということ。日本の土木技術がグローバルスタンダードになっていないんだな。その辺をもっと反省しなきゃいけない。技術力の問題じゃなくて、標準になってない。先進国の土木技術じゃない。日本という村でしか通用しないマネジメントであり、技術なんだ。だからどのゼネコンも世界マーケットでのシェアがどんどん減ってるじゃない。それは、何年先に日本の貢献はどのぐらいになるという戦略がないとだめなんだよね。業界一致して努力するというのをやらないと、単発じゃムリじゃないかな。それが政府を動かし、根づいていくんじゃないか。みんなあっちこちで失敗して撤退してきてるでしょう。これが一番大きな閉塞感になる。マーケットが増えない。日本だけで食っていかうとしてもだめですよ。特に東南アジアに対しては、日本はプレゼンスをもっと出していくべきだ。やっぱりアジアというのは日本がプレゼンスをきちっとやっていくところなんだ。そういう戦略が見えてこないといけない。

#### ◇ミッションステートメント

河田 土木学会というのはミッションステートメントというのは持ってないんだ。これが一番の欠点。いきなり倫理に行

っちゃった。実は、今年の4月から6か月かけて、今後10年これだというミッションステートメント作ったの。どうあるべきかという憲法ですよ。100年まで持たないから。そういうミッションステートメントを作るためには、ものすごい努力が要るんだ。なぜかという、共通の言語が要るから。バラバラじゃ、絶対そんなものできないから。

池亀 そのときに、一番問題だと思うのは、公共事業の問題を土木というキーワードで議論すること。幅広く、ある範囲までは広げておかないと、色濃くなって、また同じところに戻って来ちゃう。

河田 思いが入ってる人ばかり集めたら歪になるんだよね。周辺の人々の意見を入れながら、いろんな判断をそこにミックスしてやればいい。だけど、譲れるものと譲れないものがあるでしょう。やっぱり土木で欠けてるのはミッションステートメント、今後10年どう行くんだっという合意が必要なんだ。

隅野 希望つくるために、ベースに志みたいなのがある。同志を集めてやらなあかんし。それがいきなり倫理規定になっちゃった。

河田 あるべしっていうような形。そうじゃないんだ。こうありたいというものをみんなが考えて合意しなきゃいけないんだ。これだけたくさん働いているのに、それぞれの考えがバラバラで、それが唯一組織でまとまってるだけなんだよ。

何しろ象徴的なのは道路公団だよ。公団の問題というのは、もっと土木がきちっとやらんといかん。だって東海・東南海地震が起ったら陸の孤島になるところが、いっぱいあるじゃない。今回の新潟地震でもそう。緊急輸送路だけは潰れないのを造っておかなきゃいけないのに、みんな同じ構造で造っちゃったもんだから、全部やられちゃった。なぜそれを見通せないのかね。1本は残るように造ったっていいじゃない。コストかかってもいいじゃない。それ説得するのは土木技術者じゃないの。財務省と技術論で渡り合えるのは土木技術者しかいないじゃない。

西田 そういうことこそ、これからのFCCがもっとやっていくべきところなんですな。

河田 だからそのベース、僕たちがやらなかったミッションステートメントっていう、土木技術者というのはこうありたいという共通の像みたいなものを、何もそれに染まることはないんだけど、目指す方向がみんなに確認されてる必要があるよね。それがバラバラでは絶対力にならないんですよ。

#### ◇新しい価値観をつくる

西田 10年間の後半は私が副代表幹事で、そのときにいくつかのテーマでFCCやったんですけどね。「変えるべきことと、変えてはならないこと」というのが引き継いだ後の後半5年間の僕自身のテーマでした。景気が非常に落ち込んで